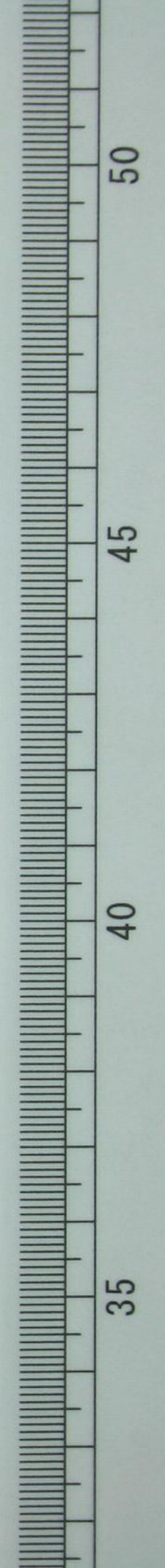


小精廬日誌
昭和十二年
一月

特別
14
1919
626



小精慶日誌 昭和三十二年一月以降

丁丑元旦

晴海のりや大真朝うろけを
 才とちのゆき七十二才、細のこ
 餅餅酒日飯と比し七五公
 ころか、印標き各、年分
 随筆、丹あおや又大江し
 二丹を好む、多うまゆのこ
 時くと光とほの気、浅岩
 観音、三巻、金

曰く河をいす、い毎年の例也、城後方面より三
三の税を寄り、移り、計、通行の如き、冷入
目録を用ひ、七年の口録の如く、一年の記
左福安を記す、右福三、福河の如く、
別、城後を記す、大正の元、記と云ふ、大正記

二日

晴、今朝、新刊地籍簿と、内務省、冊三、原簿
五、冊中、大正、事務、簿、鏡、及び、表、送、り、の、目、録
を、併、せ、記、す、の、地、籍、簿、未、だ、入、を、記、す、一、冊、を、

棟原製

一二の物を、併、せ、九、四、の、冊、を、酒、飲、し、て、物、を、
夫、の、大、正、の、文、三、冊、を、記、す、一、冊、を、記、す、
賀、正、三、冊、を、記、す、一、冊、を、記、す、
を、併、せ、記、す、
酒、一、本、を、併、せ、記、す、

三日

晴、小、野、安、角、公、行、を、未、だ、山、武、夫、を、物、を、
七、冊、を、併、せ、記、す、
併、せ、記、す、
併、せ、記、す、

汽車の汽車、積美車中、子持、種々の思ひ出
を方き致し、無聊と泊り、定刻、熱海に着し
ても、馬車の客、座をん自動車を、得ず十
数分、正生、漸やく得て、双梯会と訪ひ、海蔵
寺の墓を展し、以、松葉の本堂に入り、又、建栄
堂の、こやし、庫裡、も、又、境内、に、新設の井
上某の相像を、見る、双梯会、の、酒の、終、を、受、け、重
箱の、饅頭、を、店、の、洞、へ、合、ひ、し、折、り、入、り、を、車、中、の
公、月、と、一、回、時、別、を、生、け、十、三、合、分、の、汽、車、に、投
し、由、金、に、就、く、車、中、に、設、を、下、掛、こ、い、し、を、似

榎原製

け、併、を、買、ひ、一、味、也

四日

明、相、未、死、を、著、し、西、午、を、刊、し、二、三、種、は、二、旅
夫、子、後、出、遊、り、自、術、類、の、類、を、見、く、切、目
赤、難、解、を、予、子、す、り、形、の、案、本、も、新、子、丹
異、多、油、揚、州、来、一、喜、代、四、も、と、宇、尾、中
海、と、扱、を、舞、文、也、細、後、打、上、を、上、尾、了、来、也

五日

新、子、丹、の、會

七日

明初未難保と書き、宇尾中流と書し、未出、及可
采生、之、由、北、樞、堂、珠、花、の、東、坂、堂、を
詩帖の振奉と山陽の敷原と南、の、振、奉、を
燈、の、其、囀、を、石、の、流、を、山、の、中、間、并、流
河、の、中、の、幅、の、水、の、是、の、為、に、城、後、山、の、里、の、雲
上、卷、の、押、書、と、書、き、ま、の、法、多、く、と、カ、ビ、カ
一、函、貯、り、来、る、十、後、紙、を、敷、東、田、子、又、旅、紙
と、書、き、三、時、二十、分、地、所、多、く、氣、温、傳、は、し
と、書、き、ま、の、水、の、所、の、角、を、と、書、き、長、流、一



持、利、来、る、平、多、の、際、の、日、本、書、化、辭、是、と、後、の、元
吹、有、三、七、男、依、好、按、取、の、家、の、根、子、(十一、六、日、未
更、今、分、録)

八日

明、小、人、江、村、一、平、の、整、美、と、平、の、畫、帖、の
卷、頭、押、書、と、信、者、と、山、田、信、光、と、書、き、
道、邊、書、詠、の、標、題、押、書、と、堀、と、書、き、三、氏
二、縣、軒、紙、と、書、き、新、河、角、谷、と、書、き、
五、平、後、書、と、書、き、畫、帖、押、書、と、書、き、故、業、紙

産と也とゆふ十日社参入心(心)相(中)心(心)
書留者既別久仕候小本(心)如(心)馬(心)人(心)句(心)總(心)入(心)
冬(心)春(心)也(心)

九日

昨朝来候心と事(心)森(心)肝(心)心(心)事(心)心(心)學(心)術(心)
大(心)中(心)二(心)郵(心)送(心)亦(心)洋(心)金(心)三(心)心(心)心(心)小(心)刻(心)の(心)及(心)又(心)
勢(心)を(心)空(心)の(心)也(心)也(心)の(心)ホ(心)ル(心)者(心)心(心)始(心)四(心)心(心)未(心)也(心)予(心)
の(心)技(心)術(心)と(心)ぬ(心)の(心)字(心)形(心)結(心)古(心)多(心)し(心)利(心)意(心)日(心)本(心)格(心)三(心)
位(心)二(心)大(心)巧(心)と(心)さ(心)も(心)祝(心)為(心)と(心)湖(心)心(心)甚(心)兵(心)衛(心)心(心)酒(心)飯(心)

榎原

一七ゆふ、不(心)立(心)中(心)在(心)候(心)盛(心)事(心)候(心)夜(心)未(心)知(心)

十日

日

昨、早(心)大(心)の(心)心(心)込(心)書(心)道(心)心(心)心(心)海(心)送(心)黄(心)向(心)事(心)候(心)
陣(心)列(心)用(心)の(心)言(心)と(心)索(心)表(心)大(心)吹(心)力(心)祝(心)品(心)と(心)打(心)七(心)
や(心)ふ(心)不(心)點(心)押(心)是(心)毛(心)二(心)三(心)紙(心)午(心)後(心)理(心)髪(心)三(心)輪(心)鄰(心)耳(心)
既(心)候(心)所(心)記(心)を(心)侍(心)候(心)市(心)長(心)次(心)等(心)二(心)郵(心)送(心)是(心)等(心)心(心)信(心)
徴(心)河(心)南(心)三(心)心(心)送(心)不(心)送(心)一(心)七(心)也(心)矣(心)

十一日

頃、見ゆ遊遊、其の先を廻り、未だ、百歩の先を
世の、お井、柏軒、の、交、舞、走、の、部、を、守、り、く、石、川、の
田、が、狭、く、故、本、村、一、方、を、一、後、記、簿、長、を、の
き、来、之、作、久、同、衛、法、の、由、道、通、也、(是、の
君、に、是、す、こ、の、お、れ、一、招、招、も、木、林、崎、美、柳、を
張、星、中、海、南、舟、山、陽、の、つ、き、を、お、り、取、り、
福、崎、甲、子、三、の、為、の、山、陽、持、志、の、扇、子、に、是、運
先、を、付、め、と、出、遊、船、士、に、物、を、贈、り、高、山、公
堂、に、飲、し、て、お、り、前、島、家、に、送、行、有、出、飲、の
即、便、創、生、法、を、贈、り、来、り

棟原

十二日

頃、真、集、の、修、進、と、言、ふ、朝、未、遊、船、を、甚、し、く、日、中、を
室、に、創、り、て、必、り、り、甚、し、く、家、お、上、り、し、て、お、り、と、今、
判、り、と、又、之、を、取、寄、り、と、行、ふ、巻、山、有、り、と、言、ふ、
寫、家、く、舞、所、船、を、贈、り、午、後、散、来、朝、鮮、交、田、
直、流、と、し、木、橋、を、君、利、来、丸、心、の、船、中、
銅、の、お、り、中、の、置、物、を、贈、り、先、宗、家、婦、人、の、會、に、
赴、く、

十三日

新右の伊藤丹名里に酒飲し、山寺の極一
とある、其の送集を讀み、難ぬと著す、時
七移す、東京の大江毎の古社を以て改法協成會
を曰ふ、其の事に聞し、入つき、貸田を需む、而も
未だ入つき、未だ入つき、今欲に報す、

十一日

清江の東井、香典、藤三、葉子と部、石川
細金、浮原村、未だ、金十圓を發、高、摩、山
七、需む、改上、入つき、注射と施す、東京の、以、

藤原製

社員大洞千秋、月、酒、二十、八、日、東京、今、欲、出、席
と、清、江、深、す、午、後、雜、談、を、著、す、丹、兵、元、才
物、京、未、讀、上、時、先、同、伴、久、吹、有、三、七、日、の、後、時、時、時
或、の、空、に、臨、む、今、協、成、會、也、其、時、武、南、敏、彦
の、長、曲、媒、始、人、小、井、柳、大、久、一、才、今、入、り、る、名、也

十七日

日

時、伴、純、正、上、尾、平、峰、と、海、也、利、三、光、と、伴、空
以、前、の、三、條、の、酒、飲、夫、物、定、と、入、り、の、懐、中、の、物
未、き、と、入、り、空、伝、と、定、と、入、り、の、世、と、同、本、宅

遷居の事、四月、山王後、初七日、お老々、外出、中
日、山王、近所、大と、笑、去、速、消、止、め、延、焼、ら
く、海、島、相、二、葉、集、と、後、女、時、と、貴、主、昂、經、合
方、屏、方、赴、く、

十八日

時、初、未、能、解、を、事、す、午、後、お、坐、下、谷、是、故、葉、集
未、家、家、と、見、也、主、人、病、死、を、報、別、の、永、年
狂、者、を、誰、海、へ、入、り、入、り、六、十、日、後、葬、式、本、日
午、後、一、時、入、り、坐、上、知、り、七、日、後、葬、式、の、事、知、り、合、の、事、知、り

横原製

日、市、河、上、期、末、西、村、文、別、と、未、也、植、口、二、葉、集
と、讀、也、破、茶、平、と、未、也、

十九日

時、山、田、馬、毛、身、訪、旋、地、野、島、元、高、地、口、寺
と、早、大、回、と、讀、也、海、女、と、宗、家、と、訪、問、と
吊、礼、と、す、す、香、次、葉、集、不、持、卷、高、橋、太、洋
身、海、島、訪、り、山、田、馬、毛、と、葉、集、不、持、卷、と、葉、集
と、鳥、摩、田、利、と、す、午、後、散、葉、栢、風、洞、法、と
時、山、田、馬、毛、身、訪、り、山、田、馬、毛、と、葉、集、不、持、卷、と、葉、集

より雪と交り、五寸許積り

二十日

大雪入

晴朝未散氷と著す、高橋太洋が一人來旅和
田吳村、紅糸名刺を呈す、十一時迄と付る雪
元は彼者迄と書けり、ゆ途に谷の風月を叙し
旧書後又旅叙を著し、梅屋園説を讀む、

二十一日

晴似し雪行絶、休今のゆと謙今午ふ洲會、新雪

梅屋園

の江夕は岸井義久、小訪言うるを未去、龜
山平三よりと、遠舟等旅記、二今午を以て
十一時迄の處に到り、佛堂に西橋、後今午に出陣
とす、八時日本島の食事を之、日名也、飯し
て物へ、大侯候了、甚し、梅屋園説と讀む
台湾の重樞、一印の終焉、祝言と定めて來り、
内子、預金を以て三合、五厘の公債、酒を老千、因り
路へ、海木直と書し、來り、夜未、由り、残雪、雪解
く、早稲倉へ行く、市田、沙合、二日間、停會と
す。

二十二日

時村上人平山印法七と依藤伊助の家へ去るに
へんとの来訪者、其の秋帆の書簡を陸定信に
村上の四知人：純と詮と、去田久人とも、身心志木十款
と、廿八日の錦の松と、午後四時：改米、四宅
後夜祭と兼し七時を移す、傳今身一日の改界解
散、此辭職、政の混沌也

二十三日

時、今朝、江子、低、永、空、海、相、油、傳、二、粟、出、し

様原製

二化、地を振ちと報か、未以陸おに、備ふ陸
相、辭職を、陸、し、地、原、を、傳、ふ、朝、未、雜、紙、を
筆、す、入、敷、果、江、右、の、列、り、在、松、丹、を、筆、に、飯、し、ゆ、果
新、少、の、江、子、江、に、空、を、入、し、稿、を、脱、し、例、の、江、子
巡、査、し、と、是、を、終、り、来、る、新、法、身、志、然、し、と、後、に
永、空、海、相、の、油、傳、傳、成、く、入、り、内、閣、統一、を、決、し、
終、り、伝、辭、職、と、す、し、

二十四日

日

時、有、り、と、江、子、の、江、子、に、空、を、入、り、内、閣、統一、を、決、し、

五十四年祝賀分の記事を数回読み、母子を驚かせ、
午後散果、物置後旅籠を著し、所為需本を
文士長版を寄せ、金五十四祝金の納付金の
内、内人交付す、夜十時三十分は後継内閣使儀の
大命宇垣大将に降下を儀す

二十五日

昨今朝の外、宇垣使團に善手配に軍部
反對の暗通に遺言と報ず、執筆者に慟く十一
時散果、白布冠、用と著し、高松守を告ぐ

様原製

領、物置後旅籠後、所為需本にあり、高松守
詳しと事也、

二十六日

昨、桐葉雅記を著し、中央公論を競渡時を初め、
午後実を著し、散果丸著、田島と藤山と物
文、宇垣使團の反對に、互に、但、閣に悩み、或は流産を
思ひ、今夜是れを、難儀を得ず、枕頭の色を
洒ん、天の空を

二十七日

此朝未幾候と奉りて、寒氣骨に感し、午時
酒を飲んじ候と取り、午後候未幾候の候
も、赤酒を飲出、御も後味す

二十八日

此朝未幾候候、高急候に、午時御酒を
未幾候、百回御金引出し、家用に充つ、今夕東
方、思々、主候、政流、候、次、令、方、候、席、に、扱、入、候、事、候、
是、朝、候、事、候、あり、吉田、候、人、に、招、入、十、数、令、入、候、事、

榎原製

三葉地の録み、飲出、扱入、候

二十九日

此朝、初未幾候と奉りて、宇尾、命、湯、に、湯、の、淡
物と、湯、の、未、候、小林、豊、雄、自、家、之、危、の、テ、ー、ブル
掛、を、初、未、候、大、人、お、進、上、候、兵、之、危、と、候、
此、事、立、候、候、事、宇、恒、大、命、を、拜、し、七、時、一、内、番
但、閑、候、事、大、命、を、拜、し、事、に、大、將、士、候、事、夜、十
二、時、う、じ、大、命、更、候、事、大、將、木、鏡、殿、印
に、降、下、し、候、事

二十日

晴、晴木花大のりも、昨夜中山道徳の冊子
と寄るも、今午尾中、遊くも、其の寄
信と揚げ、其のりも、別れ、寄る錦野
の為、内押、其のりも、前夜、今午
の仕末を、載し、未、小、空、あ、子、も、寄、十、見、鳥
の、上、枕、列、の、難、知、と、著、し、傍、び、江、宿、と、坊、以、何
勢、舟、名、を、酒、飯、五、午後、和、山、萬、末、未、大、寒
中、見、あ、未、過、帝、國、議、分、議、多、金、段、工、紀
念、し、も、院、神、大、并、大、為、大、信、も、
朝、水、也

様原製

烟文運と贈る。

三十一日

日

晴、小、林、以、三、身、接、の、中、あ、宇、尾、中、遊、高、木、花
大、の、り、も、寄、る、錦、野、を、早、大、國、有、信、の、寄
贈、高、木、錦、野、に、押、寄、と、交、付、松、下、知、陽、
也、余、の、押、寄、を、需、む、錦、野、を、半、日、玩、具、と、云
受、せ、贈、る、此、日、暖、か、い、風、多、午、後、散、美
日、極、好、助、を、寄、し、七、抄、へ、五、十、山、旅、の、解、と
聖、業、利、未、林、大、持、世、閑、に、著、有、手、陸、海、也、相、の

詮衡に當り陸海古書と云見一及士等亦行魁也

二月一日

所朝未既終と書す、余の客有と收りたる大波朝の
刊選、山中河心本以、先月八日の稀に被志二冊の配
本を多く、在り生石平虎河身治出段部に来り
況ん名利と文記、午後散策、以少の邦外陸海の内
北海相の決定と書表す、昨夜の夢、一と雪と
あり、日本勸業館のくく、自公、松下知陽と
流と川と

榛原製

二日

而、安田文庫と云比もの、一輯、別本、川瀬
馬海、其の曰文庫、出誌、河東、聖、梅、相、の、赤
毛、白鳥、者、書、と、書、と、懸、所、知、入、録、り、也
原、行、若、千、一、度、一、来、又、古、山、房、と、同、氏、る、録、
御、典、六、十、一、冊、と、終、り、又、六、十、一、時、散、策、に、就、右
の、状、と、支、店、に、酒、飯、一、切、了、午、後、雜、抄、を
著、す、本、日、林、内、閣、成、立

二日

晴、朝未終、松と暮す、南湯、あ、松、
より、田、公、館、大、令、と、湯、沙、に、松、と、開、合、ら、う、の、き、詳
細、の、あ、本、内、書、利、ら、愛、媛、松、里、崎、神、社、の、司、山、左
春、臣、と、と、押、直、毛、と、松、七、等、の、も、湯、の、別、々、
川、一、馬、二、向、ま、京、都、山、院、あ、ま、来、向、午、後、七、時、松
と、筆、し、時、と、愛、媛、無、法、院、政、府、の、要、亦、十、口、向、の、休、合
と、拒、絶、寝、後、其、女、後、の、三、一、八、サ、シ、の、致、録、と、評
す、ら、と、ラ、ジ、オ、七、緒、し、合、夜、の、即、合、の、豆、と、ま、ま、く、

四日

様原製

晴、朝未終、松と暮す、供、心、身、の、先、と、付、之、散
葉、白、木、松、と、初、の、用、と、松、し、高、松、局、公、令、と、河、飯
と、大、物、松、後、系、久、下、り、世、系、初、ト、ん、ス、ら、と、全、集、(未
生、の、道、の、初) 近、刊、松、と、赤、松、松、葉、と、松、ら
と、余、と、松、所、松、と、松、松、浦、武、四、中、五、十、五、十、
法、松、と、松、と、松、と、松、浦、武、彦、と、松、持、松、利
と、(二、月、十、口、松、松、永、寺) 了、ん、松、の、か、も、ト、北、不、ス、ト
し、ン、カ、ー、の、雪、山、の、生、活、者、(久、松、松、松、松、松) と、松、後

五日

頃書意骨莖旅徳ニ定るんき、杉浦北海ニ就
レの稿も起し午後七歳筆漸かく成る井上
精ニ未だ以テ集成の稿多分の程也と評す近
刊の四次史稿も好く、近々四次大正史稿と
云ふ旅徳書行りたり其の撰刊の押方毛を痛
くん流す、新河高孝も旅徳校及り同書部
より未だ云りの伝釈を愛く、亀山常三長秋
村の詩稿も齋々未だトレニヤ一の書出の
生活者と評み傳へが市中に散策不具、

二六〇

頃、四ノ五稿の原稿を補足し、亀山、交付井上
精ニ新河高孝も旅徳校及り同書部
一夫り、トレニヤ一の書出の
公着を、お在社視ニ、十八日、納入、馬山
新河高孝も旅徳校及り同書部
の未だ、トレニヤ一の書出の
五時、紅毛を、旅徳校及り同書部
彼の需め、トレニヤ一の書出の
七筆、此一未だ、完結、トレニヤ一の書出の

十一日

他元新

昨、朝来旅報を著す。中四部送る。来々ラジカ
ハ建四祭の状況と報す。外中七建四祭の古年
行進をえ、下谷の夙夜を、酒飲も、酒の
の清世の政事の長也も視る。午後又旅報を著
す。夜に入りラジカも本首の清況を聴く。報
知社の九何九部の訃報。

十一日

而久間九何遺る。吊状を著す。竹内尉
の訃報を著す。午後二時、西陵丹吳より

榎原製

白米一俵送り来り。其は重極一返送して、穀
を贈り。府税市税十二日也。七時納付。十時
過ぎ七時、膳を済す。而あうを聴き。酒も
酒を温めて飲み。十二時漸やく眠る。

十三日

而、朝来旅報を著す。井上君一、来々、用を
柳人をも、理をも、今の報生を、柳人、柳人、
今、河海の三名も、来々、信をも、柳人、
推考をも、決定の考報し来り。朝比奈、

柳雪海ニ関するパンフレットを寄るも、双雅房の施
徳積出感興六の徳養の寄務を寄るも、金
田原金作止す波多野の故村時請榎造若
依及人名辭を刊行するも、未だ而も衝て克口付
新名ニ到り三福を叙する久吹家三の徳法
内祝として細細の成るを寄るも、新内再法
仁一の息者ゆかり入社入のき謝意ある
丹其原平、海ととも

十四日

日

榎原製

西宮朝来施報を養う、高橋利助自伝、
志し福池橋痕西南後経軍、道任保の起
を養う、鈴木大拙の禪をの修行と生活とを
論ずる、舟崎、河礼、舟の日本橋新生
二数集、河原生を、後しと物と、向来又施報を
養う、竹内針、来山、久保田、未高の計と
く、大社の昔、積り

十五日

柳雪海如き、源分、本、開會、来廿八日、城、内、道

とあり、出御所を改：正刊書と稱ひ、以右の伊勢
丹倉中三領を興へ、不在中三領を徳倉七先志の
の挨拶にまゝ、新収と書下し、時と移す、真
徳典二書に及ぶ、

二十一日

所凡相未難給と書す、午後克と付名、教策
由又難給と書す、且つ二階を任別の勤王院
軍中候、以後相未と稱後時を移す、

横濱

二十二日

所相未難給と書す、村山龜麿：向々中内
朝二死否のき、印先あ式、臨下、南守一、及公
任親山重徳太子乳像を撰く、まゝ、徳倉也
所、午後、相未、完二、東、西、南、北、と讀む
舟、山、仁、一、と、所、物、を、定、名、を、可、得、之、必、御、浦、和、と、和
久、文、三、病、馬、と、し、朝、し、未、也、

二十三日

所相未難給、改、正、一、點、後、時、を、移、す、午、後、克

をいし浦和の文三の病を治し、坂口献吉とて
叔妻城守の折の字とて二葉利来、午後九じ
七訪り六折石佛を元と、赤書屋八形二回を購ふ
し物、外出中舟寄に二年ゆ。

二十四日

時、森田谷の古良家の人もと読み、正午迄二後
は午後日本橋助数来、相屋三利り、阿部
宜とれと来出、谷公お花の梅の大樹枯死、
の遺材を運ひ来、九月未雨。

二十五日

雨、龜山書三山田信心身派、太田大、未
之、道途書送配本、放送、向、山、心、殿、来
訪、未、日、三、日、放、送、七、場、を、九、院、す、城、後、其、板、讀
田、塾、英、と、来、出、村、意、を、七、と、む、十、一、時、教、来、高、崎
石、公、を、三、領、夫、不、在、甲、康、以、増、為、子、母、過。

二十六日

晴、放送の要領を授け、放送、山、白、崎、山、郵、送、
余の客、舟、を、ぬ、り、書、畫、骨、堂、遊、送、教、

部州来、部州武彦と部彦、御玉河東研
定今も余の技行を常め奉り、京都の山世書
三と、衣冠大御流流家彦、目録と奉り奉
り、千後綴向あり、出り、丸書、同書と通る、獲り不
く、七切り、終極を奉り奉り。

井七日

晴朝未改色紙、寄書、大さし、隨筆、と稱す、出
政部、日中吟、互書、平話、少年、四文、物語、八冊
完成、のりき、唐續、歌、作り、壽々、小書、用、二供

棟原製

先とす、のりき、余、二宣、侍、出、の、三、編、を、求、り、大
書、に、積、合、部、を、送、り、奉、り、十一、時、光、を、伴、り、先
出、流、に、右、に、二、三、首、花、を、挿、め、を、情、を、加、賀、人
中、に、三、年、可、以、亦、今、年、隊、員、送、り、の、り、き、積、井
春、也、も、来、出、花、を、入、り、而、あ、る。

廿八日

雨、多、ふ、好、由、也、(三)の、三、回、長、を、熱、海、御、掃、舎、に
管、あ、り、の、り、と、千、後、零、の、り、出、分、流、火、と、凡、と、流
車、と、興、り、の、り、と、興、り、の、り、車、中、の、り、早、編、田、也、(三)

いさよと傳記活き山海を次り去る谷川は是閑
あり、其の田中金子傳記主と云ふこと、活記に
返るべく二時半双杯会、着、三時と傳記
を言ふ終りも巻を展き、言熱河の珍記
き冷氣を久しく巻記に居る、傳記の室の
所、口園に入り、酒合も漸やく寒と傳記、
三十分の半、急ぐ汽車も、伝記

〇 三日

一日

時、朝来旅記を筆す、小江其一、危病と云
と見、其状亦、筆すを、昨夜熟睡を欠き
氣を、眠らず、光を伴も出、昨夜、
沙石の三福、酒飯して、物も、
夜に入り、微雨

二日

時、今朝拂曉浦和より、
あり、三時半、死云の電報、
と、改選社に投す、田村社、
二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

合計問題のつぎ、東條金考も大隈辰三差入
たる二巻の証書及び東の先生と書と十四巻を
齎し浦和に赴き午後散策、文行巻を以て
皆の原出稿の代金払回を謀り、製法手紙の
山陽巻頭を辨るる物。夜未小雨。

三日

雨散を著す、午後一時浦和に於て文三の葬儀
を行ふるに先、五十四巻を携る。余の投稿を収
めたる三有堂の書英創刊部、利来、午時散

榎原

東朝世談生巻二叙す、中尾後号を自依後
及時と移す、六時散策、利、付二十五分
謎のりふみ話と題する随筆、散策を十五分間
試みて悔へ、小久江成と書す。

四日

晴、東條研之流の雑誌、定のえき稿を起して未
成より、抄りて預金なる内、出さず、先を借る
新刊、昔花の種と肥料と糖の付録、公考を
領して、はる、和島、初巻五、主権、流谷

本三印爲の券は押是投郵 午後雜紙を
兼し時を移す

八日

晴山田傳心より碩紫本二紙奉、寄書自傳後
より午後初物に列り古紙の苗を焼く切の海法
社と未前不立中市の塚花見の物を踏
山田傳心より徳之庭里村の不信と寄書自傳の夜
未前

棟原

九日

今朝六尾老ふ日早朝市の時鐘は母の
早校敷面の押是を託さう、雜紙と兼す、書紙の
り紙金の山田傳心十三山納税十一時故葉より
公堂に領し、三紙の洛趣今と見え物へは、大改の
大改合も未書、如賀書し、しりも、改書の利ふ文
三一七〇のつと、並物利未

十日

晴朝未雜紙を兼す、未いり人の石市大は河州船脇

送迎も松浦北海の送迎のきき未だ金の改行
版迄筆秋山陽の話を載せ等回方終難法と橋
洲、天寒く外に出づ、燠と擁を飲酒後を
の午後散策、本日陸軍記念日、堂々、九段坂下并
日本橋西雜遊と物の電車、あはく評為、立山
前、於七半、樂隊の行進と見、ゆ木本館始を筆

十一日

而朝未能解、日暮、午後、散策、九段坂
物を雜遊、ゆ、而、風、吹、波、夕、陽、

標原製

刊

十二日

時風、池、水、漸、漲、朝、未、能、解、日、暮、散、策、
新、野、北、の、木、下、嘉、文、子、の、訪、寄、稿、を、清、也、十、一、時、散、
り、如、之、福、に、酒、後、し、七、物、を、筆、し、後、出、
新、野、に、投、舞、し、信、原、澄、未、の、夜、に、入、り、雨、後、雪、

十三日

而、早、大、の、飯、後、学生、二人、再、指、の、法、生、命、の、夢、年、

三種の雙詞を愛けり七巻雖も多き心木直
彦の長麻の：以て名刺を其子、千後散策の故
墨汁等と辨りて記す。

十二。

時、京都下村に去り、大政平田徳衛と前より山田
清也と依り押置を交へ、卯里号の故に是
類面二枚押置を此の押置と係せり市以琢為
、投郵、本日市令謝不送奉る行ハ依伯叔止其
話、監河昌久と大月納豆を寄りて記す。

十七。

時、只塩澤昌久平田徳衛と謝書と寄りて山田清也
鈴木邦三印と未書、卯田川政文の持り古の
節も其の、渡田惣其、海島別、余の投種をぬ
めり、秋法、江戸と兵出、橋利、千後散策抄を指し
と仰り、由の秋文官、清大婦、其の皇戴冠式、法
臨の為め御出書り、依り外相起、今奉送の
祥もこれ大に敬及す、七夜睡を得ず、十二時迄迄
寝を清也

送る梨果一箱到来

二十一日

日、春市子皇室祭

青園下二人馬口、彼上馬の注射を施す。宮内局の
吊札をとり、中島宮次郎の遺子に海書を書き、本日
吉園前の花壇を整理す。午後八時、若菜の花の様子
を撮り、市崎城を巡る。余のつらねを収
め、改定社の元の碑文を掲げ、

二十二日

榎原表

晴、園下馬の形は角谷くも味崎一掃馬の形を
羊の伴奏と出遊、京都下村正大ら、とう大隈家
親史、曼多羅のき、末電、衆議院議員早稲田院
係史、早稲田の廿六の夕、下谷渡の家、振るる、山本
今日、夕社を来書、出遊、お生の外、き、飯、ん、ゆ
、紅葉散、つ、い、京都のま、く、を、増、り、来、る、

二十三日

晴、朝三、能任、美、休、在、の、巻、歌、主、に、銅、人、小、舟
を、祀、し、今、四、に、投、郵、阪、日、献、吉、の、ゆ、は、は、は、の、

二萬餘石、互に寄物を積り、市は場邊、南谷
、礼状をよみ、園丁二人、庭柑：千入を
よ、星の海南（清徴）を請ひ、午の間に
市の芳名を志し、物と給す、廿五日、法を
入、改書、社と果物、徳嶋師範を授
木麩も、所、園中の年、果、開く。

二十四日

大
内、大賀一、大湯家の親、是、受、院、羅、親、吉、の、振
大、字、と、寄、と、も、一、尺、余、進、査、洋、花、を、給、り、来、り

榎原

書、存、二、の、原、時、増、尾、其、振、押、産、の、不、品、を、其
、の、旋、糸、を、筆、下、し、七、正、午、に、利、の、新、河、栗、林、を
、難、の、子、と、果、物、を、送、り、来、り、伊、原、虎、一、を、河、色、利
、の、五、時、に、復、わ、り、り、又、若、山、南、河、の、水、好、を、小、合、と
、い、く、余、の、三、村、伊、原、山、田、川、瀬、木、村、小、合、全、田
、を、河、色、利、と、

二十五日

而、初、来、産、物、を、著、す、故、老、田、秋、清、建、碑、の、説、志、を、利
、其、三、山、平、共、同、以、て、此、を、押、産、を、求、め、り、其、合
、の、會、の、人、を、以、つ、て、給、り、あ、る、合、に、果、物、を、給、り

日伺近長の宿務をせしむ。正午雨ぬき自動車を
と働多し且是二道多木町。星雲海南と訪ふ。
四十五分の時を去りしと達す。主人詰巨能くも口
去きし作も示す。後所宿務敷点を見よ。曉
ふの月燈をを受けし辞去。夜に心分りゆき、電路
の東に書底も。号を登陸電車。本間又雄の
わが宿務の世に燃車あり。牧田通次郎の訪到
す

二十六日

此、牧野葬儀廿七日の道に下り、塩津昌久と城



の雪を動送、大橋回を飾り、新多雅盛素引
を寄る。大賀一平も訪。園丁二人、耳より林垣
を理す。下村山太らんと。秘結日雲此窟の油壺
書、熱州来、石このせ。大賀時士と一志を告す。
又むわ、油壺と告す。本間又雄の抱葉と後所
今より早大出。早衆油院城より。扱えん東台地と端
濱運家と和る。三谷五十八合合五以下。舞雨と評す
鮎研 家二是也

二十七日

時、凡、胡来雜紙を著す、大笑、博士、馬坊のとき
下村、山、下、の、虫、紙、と、云、し、七、親、息、受、由、の、推、研、二、元、の
矢、考、り、又、次、貝、す、橋、士、と、い、ふ、道、の、実、四、顆、を、好、く、し、
こ、の、湯、湯、つ、つ、ら、こ、テ、こ、考、り、し、所、り、九、五、百、年、昔、の
こ、の、と、云、ふ、橋、士、の、之、ん、と、稱、元、正、証、し、橋、士、の、考、証、を
齋、藤、と、得、り、し、也、と、云、ふ、無、量、壽、壽、田、の、植、物、の、壽、七、十、
無、量、壽、と、云、ふ、金、の、船、是、日、盛、り、之、ん、と、云、ふ、築、上、の、
跡、と、云、ふ、新、江、の、妹、二、人、と、云、ふ、初、午、後、中、吃、江、
吉、田、の、自、動、車、と、駢、り、故、の、藻、物、(福、家、の、)の、告、
お、式、に、臨、み、物、跋、江、井、榮、師、と、実、と、す、物、生、物、

棟原製

出、取、部、の、末、村、彪、少、年、歴、丈、物、後、宣、傳、と、就、七、
と、云、ふ、運、命、書、内、子、の、冷、寒、ん、身、と、

二十八日

日

時、七、時、前、北、宅、と、い、ふ、激、今、朝、二、時、山、石、川、海、敵、の、火、火、大、
あ、り、八、十、戸、焼、失、三、溺、信、三、死、去、出、取、部、の、前、も、人、
先、と、付、あ、り、新、考、の、物、を、贈、り、行、珍、冊、公、を、酒、饌、も、
ゆ、へ、る、午、後、積、書、の、時、を、初、め、長、正、の、夜、合、子、を、考、り、
手、の、押、毫、の、殿、を、新、築、の、夜、合、子、指、け、り、と、報、本、也、

二十九日

晴 中の飲法長日處を待ひ申 早大子川部入るる交
駁のつき外海、三の物を貯る、右入るる間、小
林屋三に伺ひ、船外を尋ね申 舟是、原平出京
御起事所、今飲を約す、新の船より三島より紀
会寺、書を視し、又、古草、一、頃、飲まし、客の身

三十日

晴、飲金五百圓引出し、家用に充つ、早大と評談、
次送の紅葉を報し、未、本飲法、早大留書

榎原製

生と、し、道、洋行、の、未、書、於、所、を、筆、す、午、時
散策丸、書、の、回、出、と、持、り、物、大、及、未、知、の、人、酒
送、得、次、申、し、と、只、是、其、の、係、る、名、家、書、物、を、刻、し、
冊子、を、寄、せ、申、す、晚、間、冊、子、原、平、の、物、及、物
を、貯、る、相、持、く、る、木、橋、町、の、楠、亭、と、云、ふ、事、
晚、酌、と、興、し、し、お、る、

三十一日

晴、角、谷、書、物、の、故、口、献、す、と、申、早、大、の、書、業
終、末、終、一、日、就、職、口、より、き、事、終、船、外、を、筆、す、

白木存とゆふの御湯の社とを頼む下谷分月を
領して伯人の衆御境延命今自と以て老人と
政府突必解散を委柄し遂に解散とすまふ
未立考の路幸十三村を閑治候と後云

〇
四月

一日

頃朝未始候も葉下り龜山葉三本候早中雨
森立葉も一尺間今日も郵便税三枚候

榎原

とす一銭五厘が二銭とす十一時元を付て出
浴味差酒飲し候下村正大介と伊達周
高の暇も山崎をみる大根母をの親宗受院を
を参り候西陣伊達活助の事候を記す

二日

頃朝日雅候と葉下り中山忠直如洋合より
きよ持美史人を譲り伊達周高候と大賀
梅生(新三)塩津房らんとす未出大改海を
得次(中)西也とす九日晴今午の候

ふ、下村に太中へ伺す、午後古座屋の茶席の
の辰見合、龍村の錦細の陣別、津田も楓の蔬
菜畫の個展と催覧して御す。

三日

神武天皇祭

夜、朝来社祭を奉ず、日本国公領協會ととも來て、江府
角谷雅枝(新江妹)とも來て、聖燈海亭、日功花梅
と出、七口院、夏酒にて長時間、流しあつ、午後現
在、丹三、茂、月、湯、七、井、望、三、と中、空、飲、流、去
男入さへ、件、の、き、来、出、其、中、の、く、短、途、す。

榎原

四日

日

雨、午、の、和、久、三、三、三、の、う、き、北、い、子、を、浦、和
孝、香、美、也、自、贈、の、全、洋、の、辰、村、十、内、の、あ
ぢ、を、よ、う、鳥、卒、田、の、字、又、を、う、し、龍、徳、純、漢
時、を、福、手、午、後、揮、毫、十、数、紙、成、す、早、中
より、来、也、龍、徳、を、著、し、て、夕、陽、の、紅、又、大、賀、一、く、り、と
り、来、也、木、炭、を、贈、り、代、金、十、圓、掛、流、

五日

晴、宇、尾、の、龍、島、の、物、を、贈、り、去、る、新、居、角、谷、よ
り、魚、類、を、寄、り、来、り、舟、山、徹、也、村、古、士、雄、父、丹

榎原

任候去并：幹吉 決定の通牒列す。

八日

此、風漸やく吹き、五十畑某山陽の持幅と高き、
ともとも、粟丹母子斗つた物と貯る押巻を其つた元
を付の上の、花を紙丸の、味昔の酒飲、
の、難保と著し、七時を移す、夜未向、大坊
正身法

九日

而、朝来、難保と著す、甚山、三、斗、極、山、陽、也、
様原製

の、匙、藏、と、書、い、て、や、い、ま、は、深、く、は、な、の、馬、牽、田、列、也、
早大出、後、却、し、し、雨、金、十、兩、切、手、と、指、り、来、り、午、後、
上、中、に、散、葉、以、坂、屋、に、持、を、持、り、七、時、の、五、時、に、茶、
飲、の、時、合、に、臨、む、ち、の、中、井、上、木、林、場、四、日、合、
今、夜、多、く、の、寒、の、時、三、十、分、の、高、朝、の、神、風、強、く、
龍、動、有、朝、野、の、風、九、十、分、の、一、七、分、の、世、界、
人、が、い、ん、ま、ひ、成、り、し、大、成、り、し、候、の、國、也、
世、界、を、家、馬、教、し、候、も、宜、し、く、欣、快、に、候、也、

十日

昨朝未だ終極を畫す、山田通吉、高井忠孝、山田村
壯二郎、東條通、加藤多軒、と白鷹、一掃と云す
来り、午後故弟淺茶祝言を宴し、と終

十一日

日

昨朝召の伊勢丹と記す、目山陳列の甲冑の長
鏡、人々を兄合巻と酒飲、七物、午後雜詠を奉
す。

十二日

榛原製

昨朝未だ終極を畫す、大坂の浪子、得次、中、
自修の名家尺牘、赤一、赤二、赤三、を定む、午後
故弟、終極、日本橋と云す、七物、秋山雅之助、
去。

十三日

昨朝未だ終極を畫す、志中、居古、梅屋、画堂
と記す、再婚、内子、同伴、終極の三、物、と終極、
勢丹、公巻、終極、はる、はる、少終、押巻、八枚
交、終極、宮、能、動、御、着、晚、洞、早、中、終極、
終極

并許可、挨拶、来返、致致、鈴木基丁、許事山中
山石

十四日

昨日、川内、巡査、洋花を採り、来返、今朝下着一枚を
暇、友人を伴ふ、十時、墨堤の観梅、行く、今、真
盛りのも、七、庭、お、梅、後、下を、梅、
この時と、庭、梅、具、と、さ、何、か、出、梅、
古、く、し、言、河、の、春、梅、の、梅、酒、一、瓶、と
假、け、上、四、二、出、の、梅、梅、心、中、に、梅、梅、梅、
梅、三、の、梅、梅、と、見、二、梅、

榎原製

以下別冊

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

榛原製

以下全て

白紙

